


作成日		発行
2021.05.01 No.311		株式会社秋山製作所 企画・デザイン室

Mother's Day

今年の母の日は5月9日(日)になります。毎年5月の第2日曜日と決まっていますが、みなさん何故この母の日が作られたかをご存じですか？その起源には諸説ありますが、よく知られているのは100年ほど前のアメリカ・ウエストヴァージニア州で、アンナ・ジャービスという女性が亡き母を追悼する為に1908年5月10日にフィラデルフィアの教会で白いカーネーションを配ったのが始まりと言われていいます。日本で初めて母の日のイベントが行われたのは明治初期頃の1915年。教会でお祝いの行事が催されるようになり、徐々に民間に広まったとされています。この時はまだ知名度は低かったようですが、1937年5月に日本のお菓子メーカーが20万人のお母さんを東京の遊園地に無料招待し、「母の日大会」を開催しました。お母さんと子供たちが遊園地を楽しんだこのイベントがメディアで大きく取り上げられたことで、日本でも母の日が広く知れ渡ることになったそうです。母の日は長い歴史の中でカーネーションを送る日と定着していますが、花言葉は「女性の愛」、特に赤いカーネーションには「母の愛」という意味があります。

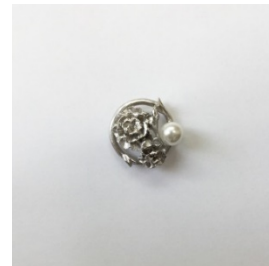
当社でも母の日にぴったりなカーネーションモチーフがあります。このブローチで日ごろの感謝の気持ちを表してはいかがでしょうか？是非この機会にご検討ください。(Y・T)



B4529



B5011



B5502

こどもの日

5月5日の「こどもの日」は1948年に祝日として定められました。もとは、季節の節目を祝う五節句の一つ「端午の節句」にあたり、厄よけの菖蒲やヨモギなどを軒先にさしたり、お風呂に入れて邪気を払ったといわれています。

時代が変わっていくと、武士の間で「菖蒲(ショウブ)」は、武道・武勇を重んじるという意味の「尚武」や「勝負」に通じることや、葉の形が刀に似ていることから、男の子の節句へと変化し、盛んに祝うようになりました。江戸時代になると、将軍に男の子が生まれると、玄関前にのぼりなどを立てて祝うようになり、やがてこの風習が武士だけでなく、広く一般の人々に広まっていきました。江戸時代中期には、町人の間で鯉のぼりが飾られるようになり、今に続いています。

日本には古くから続く素敵な風習や行事が多くあります。コロナ渦が続き行動が制限される今、家族で季節の行事や、季節の食を楽しむのもいいですね♪(H.A)



スパイスカレー

日本人の国民食ともいわれる「カレー」。過去には、スープカレーやバターチキンカレー、薬膳カレーなど色々なカレーがブームとなりました。ここ数年ブームとなっているのが「スパイスカレー」です。「スパイスカレー」とは大阪で生まれたカレーで、聖地と言われる大阪から全国にブームが広がり、各地に人気店が生まれています。特徴は、インドやスリランカの料理の影響を受けながら、日本人ならではのアイデアやアレンジが加えられた、ルウを使わずにスパイスで作られた新しく自由なカレーです。無数の種類のスパイスが織りなす、無限大の組み合わせがあるため、お店によつての違いはもちろん、同じお店でも、数種類のカレーや副菜を混ぜ合わせながら食べることで、何通りもの味を楽しむことができます。

家庭でも簡単に作れるキットやレシピ本も人気となっていますので、試してみたい方が多いのではないでしょうか？(H.A)



